

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		AIAI PLUS 村上駅前		公表日		2025年 3 月 10 日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	3	別室で対応する事がある為、改善が必要時々運動プログラムなどで十分にサーキットがまわしきれない事があります。1枠に利用者が集中している時は2対1にしたりしているが個別が望ましいと思います。	1つの枠の利用人数を適正にできるようプログラムのスイッチをするなど検討していきます。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	4	個別対応が特に必要なお子様が多くなると職員の任数が不足と感ずります。常ではないが1日の3回や曜日によりアンバランスな日もあります。適切であるとは感じているが、もう少し配置人数が必要と感ずる時もあります。	1と同様にプログラムをスイッチする等検討致します。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7					
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7					
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7					
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7					
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7			昼礼が意見を言いやすい空気の良いです。昼礼や夕礼を通して日々の支援を振り返っています。	継続して職員が意見を言いやすい環境を提供していきます。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7			支援の共有をした事を事業所内で連携しています。	いただいた意見を事業所の支援に取り入れて改善につなげていきます。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7			研修の機会を推進している。	職員のスキルアップにつながるような研修の機会をなるべく設けていきます。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7					
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7			個別支援計画書の更新に合わせてアセスメントを行っています。	今後も継続していきます。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7			支援に関しての話し合いを適時行っていきます。	定期的に支援共有、カンファレンスを通して職員全体の意見を取り入れていきます。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7					
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7					

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	1	相談しやすいです。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	1	できる時は行っており共有もしているが、日によっては打ち合わせ時間の確保が難しい事もあります。	月末などの繁忙時には難しい時もあるが、欠かさず行うように努めていきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	1	終了後ではないが翌日などに、時間を取って情報共有を行っています。土曜日のように支援終了後時間が確保できる場合、打ち合わせをしています。昼礼や夕礼を通して支援の共有をしています。	昼礼や夕礼時の支援共有の場を持ち、支援の課題について随時共有します。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		支援経過の記入を毎日行ったり、次へつなげるようにしています。	記録を適切にとる事を継続していきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		児童発達支援管理責任者を中心に行っています。	継続して実施していきます。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	4	関係機関との会議はほぼ行われていません。サービス担当者会議がほぼありません。	相談支援事業所との支援共有を継続していきます。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1	保健、医療への連携は難しいと思います。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7		各園によって方法は違うが定期的に支援を共有しています。	保護者様の承諾を得た場合、幼稚園、保育園の先生方と通所の様子をお伝えし連携していきます。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	4	情報共有の場は多くないです。小学校との情報共有はありません。	訪問支援などが実施できる学校においては、情報共有が可能かと思われます。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4	3			

	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	5		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	7			
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	5	ペアトレは行っていません。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		7	今年はできていないが不定期ではあるが、実施の方向です。	ご要望に合わせて開催を検討していきます。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		毎月PLUS通信で、事業所のお知らせを発信しています。	利用の様子や、お知らせなどを定期的に発信する事で、事業所の様子を伝え安心に繋がる為、今後も継続していきます。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	6	行事などはほぼ行っていません。	ご要望があれば検討していきたいです。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7			
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		本年度から実施しています。	安全対策について事業所としての対応を確認してまいります。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		契約時に実施していく	病歴について契約時に確認しております。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	2	食べ物を扱っていません。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	1		

応	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		ヒヤリハットの共有をしています。 大きな事故につながらないよう、ヒヤリハットの内容を職員全体で共有し、事故の予防に努めます。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		毎年研修の機会を設けています。 社内外の研修の機会を設けます。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7		